

☆福岡大学病院診療科一覧☆

診療科名	腫瘍・血液・感染症内科	内分泌・糖尿病内科	消化器内科	腎臓・膠原病内科	循環器内科	呼吸器内科	神経内科	健康管理科	総合診療部	東洋医学診療部	精神神経科	小児科	消化器外科	呼吸・乳腺・小児外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	歯科口腔外科	リハビリテーション科
	毎日	毎日	毎日	月・火・水・木・金	毎日	月・火・水・木・金	毎日	月・火・木・金	毎日	初診 月・木 再診 月・火・木・金・土	※予約制	毎日	毎日	毎日	月・水・木・金・土	※予約制 月・木	月・水・金	火・木	※予約制 月・火・金	火・木	※水は予約制	月・火・水・木・金	月・火・水・木・金	月・水・金	月・水・金	毎日	

【診療受付時間】

◎初診：(月～土) 8時30分～11時00分 ◎再診：(月～土) 8時30分～11時00分
※休診日：日曜・祝祭日 盆休(8/15)・年末年始(12/29～1/3)

交通のご案内

地下鉄七隈線でご来院の方へ

「福大前駅」での下車となります。下車後、徒歩1分です。改札口を出て右側(2番出口)が福岡大学病院方面となります。定員20人乗りの一般用のエレベーターが設置されています。※「天神南駅」からご乗車の場合(所要時間 約16分) ※「橋本駅」からご乗車の場合(所要時間 約8分) ※「福岡空港」、「博多駅」からの場合、「天神駅」で乗りかえです。天神地下街を通過して七隈線「天神南駅」から乗車となります。

バスでご来院の方へ

「福大病院バス停」での下車となります。天神から(所要時間 約30分) 天神警回神社三越前から14、114番のバスにご乗車ください。天神協和ビル前(10)乗り場、あるいは天神福ビル前(12)乗り場からの場合、福大病院経由の140番のバスにご乗車ください。博多駅から(所要時間 約40分) 博多駅前バス停(A)あるいは、福岡交通センター1階(4)乗り場から福大病院経由の114番にご乗車ください。



♀バス停 〰️バス路線 ●は行先番号 〰️地下鉄七隈線

六本松・別府2丁目バス停から(所要時間 約15分) 14番、114番、140番で福大病院経由のバスにご乗車ください。
西新から(所要時間 約30分) 脇山口バス停で、95番の福大病院経由のバスにご乗車ください。

自家用車でご来院の方へ

九州自動車道、福岡都市高速道路を利用する場合 九州自動車道、太宰府ICより福岡都市高速道路を経由し、堤ランプで降り、国道202号線(B福岡外環状線道路)に入り2kmほど直進して、福大トンネル出入口手前で右折し福岡大学病院方面に向かい福大病院東口交差点を右折してください。

西九州自動車道を利用する場合 ※西九州自動車道(福岡前原道路)拾六町インターチェンジで降り、国道202号線(福岡外環状線道路)の青果市場入口交差点を右折する。国道202号線(福岡外環状線道路)を4kmほど直進し、福大トンネル出入口手前で右折する。梅林中学校交差点を左折後300mほど直進し、福大病院南口交差点を左折してください。

国道202号線バイパスを利用する場合 ※天神、六本松方面から来院される方は、国道202号線(A別府橋通り)の中村大学前交差点を左折し3kmほど直進し、七隈四ツ角を過ぎると右側に病院が見えてまいります。 ※福重、原方面から来院される方は、国道202号線(C今宿新道)の荒江四ツ角を過ぎ、国道202号線(別府橋通り)の中村大前交差点を右折し3kmほど直進し、七隈四ツ角を過ぎると右側に病院が見えてまいります。

国道263号線を利用する場合 ※西新、荒江方面から来院される方は、国道263号線(D早良街道)の野芥四ツ角を左折し、県道49号線を1.2kmほど直進し福岡大学病院方面に向かい福大病院南口交差点を左折してください。 ※三ツ瀬、曲淵方面から来院される方は、国道263号線(D早良街道)の野芥四ツ角を右折し、県道49号線を1.2kmほど直進し福岡大学病院方面に向かい福大病院南口交差点を左折してください。

●駐車場は有料です。(4時間以内200円、4時間超1時間毎100円加算)

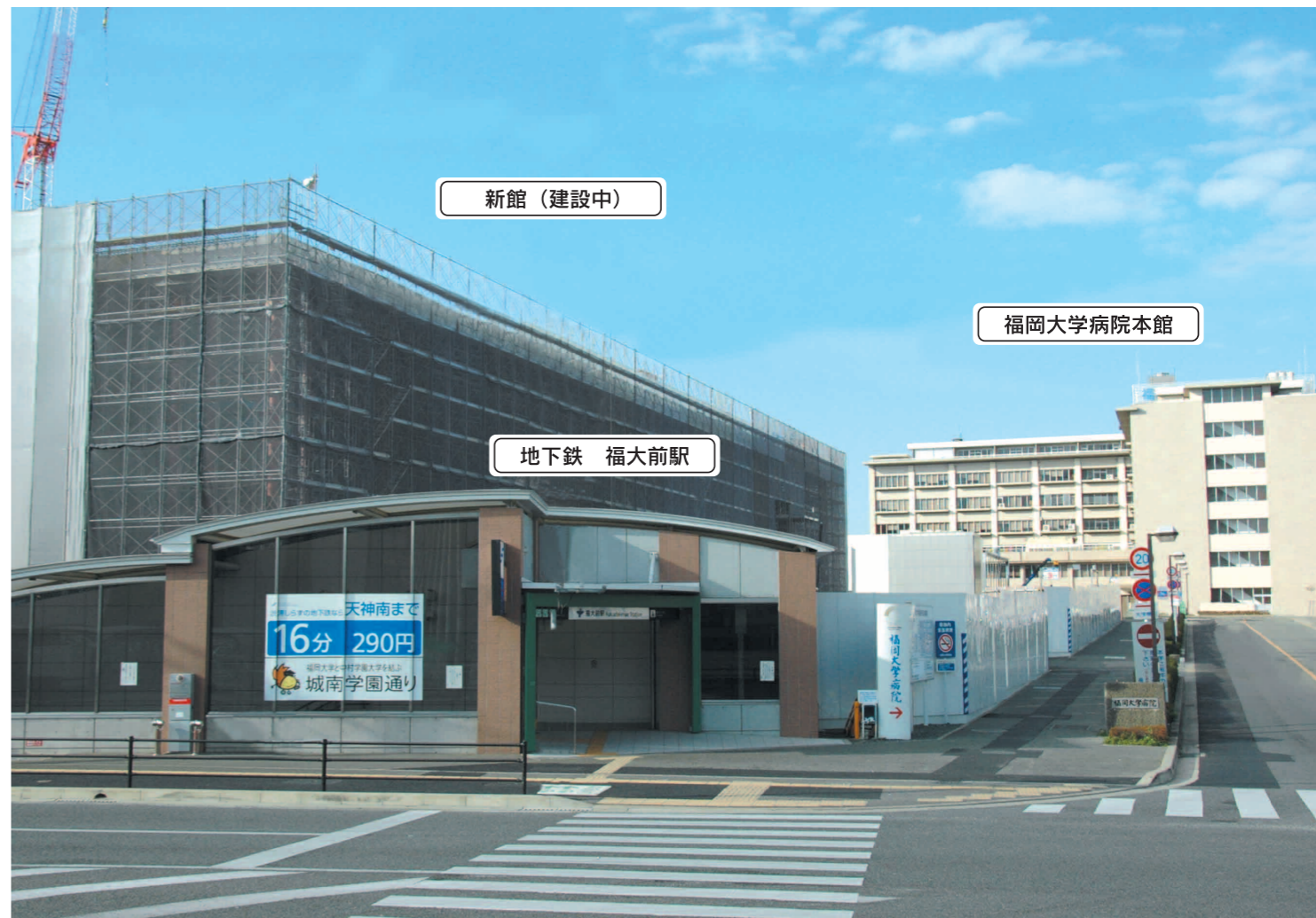


車イスを利用される方の待ち合いスペースを設けています(ご利用ください)

福岡大学病院 〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45-1 TEL (092)801-1011(代)

発行：医療情報部 URL：http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp/

福大病院ニュース



新館(建設中)

福岡大学病院本館

地下鉄 福大前駅

工事風景 平成21年12月現在



福岡大学病院の基本理念 あたため医療

- 高度先進医療の指導的病院
- 健康のための情報発信基地
- 地域に開かれた中核的医療センター
- 社会に必要とされる優れた医療人の育成
- 社会のニーズに応える患者中心の医療の提供

患者さんの権利と義務

医療は医療者と患者さんとの信頼関係で成り立っています。福岡大学病院では、信頼され安心して受診していただける病院を実現するため、患者さんの基本的な権利を明確にしてこれを職員一同が認識すると共に、患者さんにも義務を守っていただくことをお願いします。

《患者さんの権利》

1. 受療権 患者さんには常に人間としての尊厳と差別のない安全で最善の医療を受ける権利があります。
2. 選択権 患者さんには病院を自由に選択し、変更する権利があります。
3. 自己決定権 患者さんは検査や治療について、その目的、もたらされる結果などについて十分説明を受け、納得の上で選択あるいは拒否する権利があります。
4. 知る権利 患者さんは自分自身に関する情報を開示され、自己の健康状態について十分な情報を得る権利があります。
5. プライバシー保護権 患者さんは医療上得られた個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。

《患者さんの義務》

1. 情報提供義務 患者さんは良質な医療の提供を受けるために、ご自分の健康に関する情報をできる限り正確に医師や看護師に提供してください。
2. 状況確認義務 患者さんは納得のいく医療の提供を受けるために、医療に関する説明を受け、理解できない場合は理解できるまで質問して確認してください。
3. 診療協力義務 全ての患者さんが適切な療養環境で治療に専念できるように、社会的ルールや病院の規則、職員の指示を守ってください。
4. 医療費支払い義務 適切な医療を維持していただくために、医療費を滞りなくお支払いいただくことが必要です。

新年の挨拶



福岡大学病院長
内藤 正俊

新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるにあたって、皆様に福岡大学病院の現状や取り組みと現在建設中の新診療棟の概要についてご報告申し上げます。

福岡大学病院の診療状況については、平成20年度の外来患者延数は332,054人、入院取扱患者数は269,273人でした。平成19年度と比べると、外来患者延数は3,963人増加していますが入院取扱患者数は逆に4,651人減少しました。減少の要因として多剤耐性アシネトバクター菌による院内感染により、昨年1月下旬から約1カ月間、一部の病棟を閉鎖したことによる影響です。感染対策の強化とともに職員の努力により昨年の秋に多剤耐性アシネトバクター菌の保菌者は皆無となりました。当院では、これを機

会にあらゆる感染症に対する盤石の備えができ、文字どおり“雨降って地固まりました”。

手術件数は相変わらず「うなぎ上り」の状態、患者さんからの信頼の輪が広がっている証といえ、平成11年度は5,632件でしたが平成20年度は6,899件になっており、毎年140件前後の手術件数が増加しております。

近年の医学の急速な進歩に伴って診断方法の多様化や治療方法の高度化を積極的に行い、特定機能病院の役割である高度な第3次医療を維持しており、患者さんには安心して治療を受けていただけるよう、インフォームドコンセント(説明と同意)の充実を行っております。さらに昨年8月から導入された電子カルテシステム及び今年4月からの医師の事務処理をサポートするメディカルクラークの配置により、これまで以上に、医師が患者さんと接する時間が増え、安全、安心そして質の高い納得の医療の推進に繋がるのではと期待しています。

臨床研修医の減少傾向に対しては歯止めをかけることができ、平成20年度の臨床研修医は63名の募集に対し僅か35名、56%の応募に留まっていました。そこで平成20年度初頭より、臨床研修医に対する卒後研修カリキュラムの充実と待遇改善等の対策を行った結果、平成21年度は55名の募集に対し55名、100%の応募があり、全国ランキングでは慶応大学病院と同じ6位と好成績でした。また、平成22年度においても55名の募集に対し2年連続100%の応募がありました。

待望の新診療棟が本年12月に竣工されます。新館は地上7階 地下1階建となり、地下鉄福大前駅と地下通路で直結され、雨の日でも福大前駅より濡れることなく来院していただくことが可能になります。また、現在の病院本館とは渡り廊下で結ばれます。1階から3階までがセンター化した外来部門で、4階から7階までが病棟(204床)になります。新館の東側には、地上2階 地下1階建の「福大メディカルホール」が建設されます。1階、2階には講演会のための「メディカルホール」(300席)や「同窓会ラウンジ」が設置され、地下1階には外来部門に新設される予防医学センターとともに地下鉄七隈線沿線の地域の人々に健康増進や予防の場を提供することを目的として「メディカルフィットネス(運動療法施設)」が設置され、スポーツ科学部や薬学部と連携した施設としての役割が期待されています。また、地下1階には有名なコーヒーショップチェーン店「スターバックス」が出店する予定です。病院本館には新館へ移転しない診療科の入院病床(711床)や手術部等の中央部門が残る予定で、病院本館のリフレッシュに向けての準備を開始しています。

病院の理念である『あたたかい医療』を推進するとともに職員各自が能力を存分に発揮し、達成感や成長感を感じられる病院創りにお役に立ちたいと願っています。今年もどうぞ宜しくお願い致します。



完成予想図

糖尿病看護認定看護師について



糖尿病看護認定看護師
手島 佳代子

糖尿病看護認定看護師とは

糖尿病は慢性疾患で、生涯付き合っていかなければならない病気です。患者さんが糖尿病と向き合いながら日常生活が送れること、また、血糖コントロールが図れて合併症がなく健康な人と同じような生活が送れることが理想であると考えています。糖尿病看護認定看護師は、糖尿病患者さんが自らの力で自己管理ができるよう生活支援・生活調整を行う役割があります。また、他の職種(医師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師など)と看護師が連携を図りながら、糖尿病の患者さんを支援できるようなチーム医療に取り組んでいます。

糖尿病看護認定看護師の活動の紹介

①外来でのインスリン注射指導

近年、外来で通院しながらインスリン療法を開始する患者さんが増えてきています。自宅に帰ったその日から、患者さん自身がインスリン注射を行わなくてはなりません。患者さんが不安なくインスリン注射が行えるよう、使い方や注意点を説明しています。わからないことがあれば、電話での相談もお受けしています。

②フットケア外来

月曜日の午後からフットケア外来が行われています。糖尿病足病変のある患者さんへ爪切りや胼胝(たこ)の処置・生活指導を行っています。自分での爪切りが難しい方・足のことでお悩みの方は、担当の医師を通してフットケア外来にご相談ください。

③糖尿病教室

週3回(月・火・水曜日)14:30から16:00まで糖尿病教室が行われています。医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、スポーツ科学部が、それぞれの専門分野を担当しています。予約が必要ですので、教室に参加したいと思われる方は担当の医師にご相談ください。

④糖尿病患者会(七隈会)の活動

当院に通院している糖尿病の患者さんの会があります。七隈会といって、毎年秋に患者さんの集まりを行っています。毎年テーマを決め、食事会や調理実習、ウォークラリーなど、患者さんの希望に合わせて、患者さんとともに企画・運営を行っています。今年はフットケアについて行い、参加者全員で足の観察や爪切り、やすりかけを体験しました。

糖尿病をもった患者さんが患者さんらしく生活しながら、糖尿病と上手に付き合っていくことができるように、患者支援を行っていきたくと考えています。相談したいことがありましたら、内科外来にいますので気軽に声をおかけください。



フットケア外来での爪切り



胼胝(たこ)のケア



インスリンデバイス
(インスリン用注射器)